

里地里山での持続可能な活動の支援・普及を通じて、自立分散型・循環型社会の拠点づくりを推進

1. 事業目的

- ① 重要里地里山等における社会経済的課題と環境的課題を統合的に解決しようとする活動を支援
- ② 里地里山を新しい視点で活用する多様な主体の連携促進

2. 事業内容

「生物多様性国家戦略2012-2020」（平成24年9月閣議決定）では、里地里山の管理不足が生物多様性上問題であり、保全活動の取組への支援や都市住民、事業者なども含めた地域全体で支える新たな仕組みづくりが必要とされている。

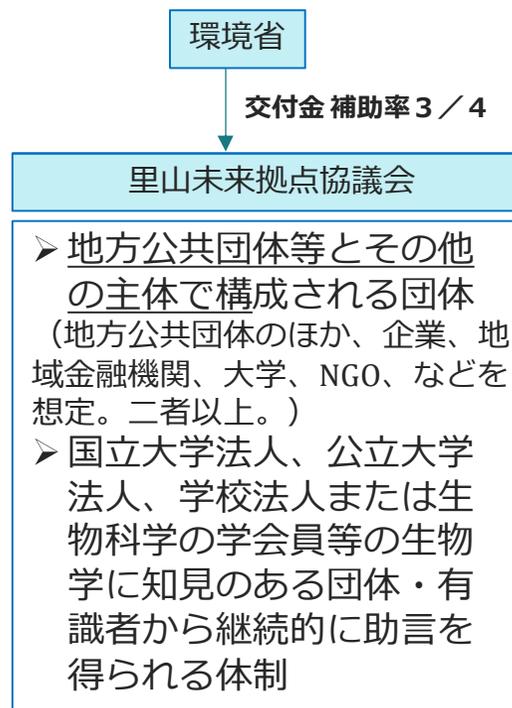
こうした状況を踏まえ、人々の暮らし方の変化も踏まえた、里地里山における生物多様性に配慮した持続可能な活動を支援・普及する。具体的には、以下の地域を対象とする、社会経済的課題と環境的課題を統合的に解決しようとする活動（生物多様性保全に資する自然体験・教育、資源活用、雇用創出等）を支援する。

- 重要里地里山
- 特定植物群落
- 都道府県立自然公園
- 国立・国定公園普通地域
- 都道府県指定鳥獣保護区
- モニタリングサイト1000里地調査対象地
- 重要湿地

3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金（交付率は3/4）
- 交付対象 里山未来拠点協議会
- 実施期間 令和3年度～

4. 事業イメージ



里山×教育・体験

森のようちえん、子どもキャンプ、自然学校、自然体験イベント、人材育成



里山×観光物産

狩猟ツアー、暮らし体験、トレイル・フットパス、生き物ブランド、ジビエ、竹製品、自然共生型フェス